

Interview



なかがわ・かずみ  
東京女子医大卒。医療法人大宮シティクリニック理事・副所長。人間ドック専門医。マンモグラフィ読影認定医。

# 医療法人 大宮シティクリニック

## 皆さまに安心の結果を

理事・副所長 中川 一美

2006年に厚労省が乳がん検診にマンモグラフィを推奨したことを受け、07年には当院でも最新型のデジタルマンモグラフィを導入して乳がん検診を開始しています。

現在、毎週金曜日、乳がん専門医・三浦弘之先生の乳がん専門外来を設け、1日約15名の患者さんにわかりやすい専門の説明が出来る体制となっています。また乳がん画像診断も放射線専門医数名で診断しています。

### ■乳がん検診希望者増加

当院は人間ドックが主体のクリニックですが、乳がん検診は1日約40〜50名、年間1万人受診しています。日本人の乳がん罹患数

増加は報道でも取り上げられることが多くなり、当院でも検診を希望される方が増加しています。乳がんのわが国の発生率は欧米よりはまだまだ少ないのですが、平成になり増加が著しく、いずれは欧米並みになりそうです。日本女性の傾向としては40歳代に発生のピークがあることです。厚労省は40歳からの検診受診を推奨していますが20代、30代の発症も珍しくはありません。当院の受診者は40歳代が多く、当然希望される方も増加の一途です。

### ■デジタルマンモグラフィ

デジタルマンモグラフィは検査がスムーズでアメリカの学会では解像力はアナログ（フィルム撮影）に勝ると報告されています。以前わが国はデジタルマンモグラフィの技術が十分でなく、欧米に比べて後れを取っていました。06年の厚労省指針のおかげで技術力、診断力が一気に向上しました。指針で医師、技師、設備に厳格な基準が設けられ、認定試験も必須となりました。当院では医



日本製の最新型デジタルマンモグラフィを備える

師、技師ともに早い時期より資格を取得し、基準にあう人材及び設備を整えました。07年には技術を認められ、学会で賞をいただけるほどになりました。

### ■精度の維持

このように早期に技術、設備が整備でき、受診者皆さまのご支援の賜物と存じております。これからも精度を維持することが課題です。検査は多少の痛みを伴いますが、一瞬で済みます。何より安心して受診していただけることが第一です。スタッフの技術の向上、安定した成績、受診者の皆さまへのきちんとした説明が何より大切です。皆さまに安心できる結果をお届けしたいと考えて日々研

さんしています。

### ■乳がん検診を皆さまに

欧米の乳がん検診は80%以上の女性が受診しています。わが国では行政や会社の助成制度がありますが、まだ無関心な方が多いようです。「怖い」「がんと言われると困る」など踏み出せずにいる方が少なくありません。何より40%以下の方しかまだ乳がん検診を受診されていないという数字が現状です。何とか多くの女性の皆さまに受けていただきたい。早期に見えれば乳がんは治ります。検診は皆さまに元気に暮らしていただくための生活基本設計です。ぜひどんな機会でも利用されて受診していただきたいと思えます。